

# 八王子丘陵山行報告

【山行日】2021年2月11(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 8:00

【費 用】マイカー2台 : 700円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西、嶋田、島田、鈴木ヒ、関、廣瀬、福島、福田夕、藤原

【コースタイム】岩舟支所 P8:00＝菅塩沼 P8:45/9:00～  
菅塩峠 9:20/9:30～高尾山 9:50～靱山峠 10:20/10:30  
～高尾山 10:50～菅塩峠 11:20～唐沢山 11:35/12:10  
～北金井キャンプ場 12:50～菅塩沼 P13:15/13:25  
＝アグリタウン 13:55/14:10＝岩舟支所 P14:20



今日は毎年恒例房総の山「伊予ヶ岳」に登る予定だったが、千葉県は緊急事態宣言発令中なので、近場の八王子丘陵に変更した。岩舟支所を8時に出発し、1時間足らずで菅塩沼駐車場に着く。



八王子丘陵は群馬県太田市がハイキングコースを整備し、菅塩沼や北金井キャンプ場に駐車場やトイレが設置されている。駐車場に車を止め、トイレを済ませストレッチを行ってから出発する。

菅塩沼から昔の峠道を進み、菅塩峠に向かって緩やかに登って行く。途中には炭焼き窯の跡があり、立派な東屋が整備されて綺麗に保存されている。さらにコンクリートの坂道を登ると、ベンチと標識が立つ菅塩峠に着く。菅塩峠は、かつて太田市菅塩集落と桐生市広沢集落を結ぶ生活道で、ここから靱山峠まで太田市と桐生市の境界尾根を歩いて行く。ここで小休止し、衣服調整と水分を補給し、ここからは2班に分かれて行動する。1班は靱山峠まで往復コースを歩き、2班は10時30分までゆっくり歩き時間で戻るコースを歩く。峠から緩やかにトラバースして登り、尾根道に出ると急坂のアップダウンを繰り返しながら進む。自然林の明るい尾根は爽快で、皆さん賑やかに会話が弾みとても楽しそう。ベンチがある日向山を越え、2つ先のピークで小休止する。さらにアップダウンを繰り返し、245mの木札がある高尾山を過ぎると下りが多くなる。檜やカシなどの常緑樹が多くなり、うす暗い道を下ると道路が見え、太田市と桐生市の境界になる靱山峠に出る。峠の先に茶臼山ハイキングコースがつながるが、今日はここで休憩し往路に戻る。くだものや菓子などを食べ、水分を補給したら来た道に戻る。往路で登山道の様子が解り、皆さんの歩きに余裕が出て軽快に進む。途中の日向山で休憩し、リンゴや菓子を食べエネルギーを補給する。

菅塩沼から昔の峠道を進み、菅塩峠に向かって緩やかに登って行く。途中には炭焼き窯の跡があり、立派な東屋が整備されて綺麗に保存されている。さらにコンクリートの坂道を登ると、ベンチと標識が立つ菅塩峠に着く。菅塩峠は、かつて太田市菅塩集落と桐生市広沢集落を結ぶ生活道で、ここから靱山峠まで太田市と桐生市の境界尾根を歩いて行く。ここで小休止し、衣服調整と水分を補給し、ここからは2班に分かれて行動する。1班は靱山峠まで往復コースを歩き、2班は10時30分までゆっくり歩き時間で戻るコースを歩く。峠から緩やかにトラバースして登り、尾根道に出ると急坂のアップダウンを繰り返しながら進む。自然林の明るい尾根は爽快で、皆さん賑やかに会話が弾みとても楽しそう。ベンチがある日向山を越え、2つ先のピークで小休止する。さらにアップダウンを繰り返し、245mの木札がある高尾山を過ぎると下りが多くなる。檜やカシなどの常緑樹が多くなり、うす暗い道を下ると道路が見え、太田市と桐生市の境界になる靱山峠に出る。峠の先に茶臼山ハイキングコースがつながるが、今日はここで休憩し往路に戻る。くだものや菓子などを食べ、水分を補給したら来た道に戻る。往路で登山道の様子が解り、皆さんの歩きに余裕が出て軽快に進む。途中の日向山で休憩し、リンゴや菓子を食べエネルギーを補給する。

アップダウンを繰り返しながら進む。自然林の明るい尾根は爽快で、皆さん賑やかに会話が弾みとても楽しそう。ベンチがある日向山を越え、2つ先のピークで小休止する。さらにアップダウンを繰り返し、245mの木札がある高尾山を過ぎると下りが多くなる。檜やカシなどの常緑樹が多くなり、うす暗い道を下ると道路が見え、太田市と桐生市の境界になる靱山峠に出る。峠の先に茶臼山ハイキングコースがつながるが、今日はここで休憩し往路に戻る。くだものや菓子などを食べ、水分を補給したら来た道に戻る。往路で登山道の様子が解り、皆さんの歩きに余裕が出て軽快に進む。途中の日向山で休憩し、リンゴや菓子を食べエネルギーを補給する。



往路で登山道の様子が解り、皆さんの歩きに余裕が出て軽快に進む。途中の日向山で休憩し、リンゴや菓子を食べエネルギーを補給する。

ここからも快調に歩き、予定よりも早く菅塩峠に戻れた。菅塩峠から直進し、高壺山を巻くように登り、雷電山への登りで上部に2班の姿が見えた。



最後の唐沢山への登りで2班に追いつき、一緒に唐沢山頂の東屋に着く。東屋でランチタイムとなり、けんちん汁を温める。こだわりの豆腐が入ったけんちん汁は、とても美味しく体も温まる。沢庵や出汁巻き卵なども並び、豪華なランチに皆満足そう。お腹が満たされたら下山し、往路を少し戻った分岐を左折し北金井キャンプ場に向かう。南に向かって下る道はとても暖かく、陽だまりを楽しみながらのんびり下る。送電鉄塔を過ぎ、太田市北部運

動公園への道を左に分け、直進して広い道を下ると北金井キャンプ場に出る。トイレや炊事場、コテージ等が整備されているが、この時季は人影が見られない。トイレを済ませコテージ脇を登って行くとT字路になり、左に進んで次の分岐も左に進む。途中に大きな展望台があるが、寄らずに下って行くと菅塩沼の上で往路に出て、まもなく駐車場に着いた。トイレを済ませ、靴を履き替えたなら車に乗り帰路につく。時間が早いのでアグリタウンに寄って買い物したが、予定よりも1時間以上早く帰着した。